

総合的な学習活動案

尾道市立久保小学校 國當 信幸

- 1 対象学年 第3学年
- 2 テーマ タイムマシーンに乗って
単元名 「久保の昔旅行記」
- 3 単元について

- 本学級には明るく活発な児童が多い。特に、興味のあることや新しいことに対しては意欲を示し、積極的に発言したり行動したりできる。しかし、まだ自己中心的な面が強く、友だちのよさや意見を受け入れることができにくい児童が多いのも実態である。また、自ら活動を工夫したり、根拠を追究し続けたりして粘り強く学習を進めていく姿勢は十分に育っていない。

児童は1学期に、初めて経験する総合的な学習『発見尾道』の学習で、「久保の町をアピールしよう」をテーマとして自分たちの住んでいる町をくわしく調べ、伝えていく学習をした。その学習を通して、久保の町には文化遺産や食べ物、季節の行事などたくさんあること、町のなかで見かける点字ブロックやスロープ、ノンステップバスなどは、高齢者や障害のある人のために工夫されていることなどを発見することができた。また、自分たちで学習することの楽しさを味わったり、メモのとり方、まとめ方、発表の仕方など、基本的な学習方法の経験をしたりしてきた。

少子化・核家族化が言われて久しいが、本学級でも、祖父母と一緒に住んでいるという児童はわずか5人（祖父1人、祖父母4人）にとどまっている。近くに祖父母が住んでいて、日常的に行き来しているという児童（11人）も含めて、日頃どんな話をしているのかたずねたところ、「お母さんの子どものころの話」、「おじいちゃんが小学生だったころのこと」、「戦争の話」などが多かった。なかには、「私のおじいちゃん、物知りなんよ。」とか、「ぼくのおばあちゃん、けん玉の名人。」といった発言も聞かれた。しかし、自分の祖父母以外のお年寄りとの関わりについては、これらの児童を含めて、ほとんどないといった実態であった。

- 本単元は、児童の祖父母や地域のお年寄りから、久保の昔について話を聞くことによって『久保の昔旅行記』を作ろうとするものである。

これを調べるにはどういう方法で調べたらいいのか、相手に分かるように伝えるためには何が必要か、この目的を達成するためには、自分は何をしたらいいのかなど、子ども一人ひとりが考え、活動していくことを通して、主体的な学びの方法を経験し、力を高めていくことをねらいとする。

現在校区内には、約2300名のお年寄り（65歳以上）がおられる。そのうち約600名（約26％）は、独り暮らしのお年寄りである。

児童が普段接することの少ない地域のお年寄りに、「昔を教えていただく」ことでふれ合う機会を持ったり、お年寄りの生きざまや願いを聞いたりする活動を通して、これからお年寄りとのように関わっていったらよいのかだけでなく、相手に対する思いやりの心を育てたり、相手の立場にたって、やさしい心で人に接することができるようになったりすると考えた。

人とのふれ合いの中で、相手を思いやる心が芽生えることにより「自分」を大切にすることも可能となるであろう。そして、「自分」を大切にできるものは、相手との関わ

りにおいても、新たな考え方・接し方を生み出すことができるようになるはずである。

また、携帯電話やパソコンの普及など、現代の生活はますます便利で、快適なものへと移り変わっている。反面、そうした現代の生活の中で、私たちは昔のくらしの中に息づいていた「ものへの感謝の気持ち」や「人と人の温かいふれ合い」などを見失いかけている。生活はどんなに便利で快適になっても、人として大切にしていきたい“昔のよさ”を、未来を創造していく子どもたちに感じとる機会を持たせていきたいと考え、本単元を設定した。

- 指導にあたっては、まず、指導者自らが昔旅行記を発表することから学習を開始する。そこでは、昔の自分と現在の自分を並べた合成写真を作って「記念写真」として紹介したり、お金では買えない“思い出の品”を「おみやげ」として紹介したりするなどして、子どもたちの興味関心を喚起させる。そして、子どもたちに“タイムマシーンにのって久保の昔を旅し、楽しい旅行記を作ろう”を学習課題として投げかけ、子どもたちが常に意欲を持続させながら楽しく活動を展開していけるよう留意したい。そのためには、決して結論を急がず、体験を積み重ねていく中で生まれるさまざまな子どもの感じ方をもとに、話し合ったり、考えたりすることでねらいに迫っていききたいと考える。ただ、失敗するとすぐに投げ出したり、失敗を悪いことだととらえてしまいがちな子どもの状況がある。「失敗した時に、その失敗を生かし、どうしたらいいのか考えてもう一度挑戦していく、それが発見尾道の勉強なんだよ。」という話を繰り返していきたい。

聞き取りや調べ学習に関しては、学び方を学ぶ観点から、「新しいことを発見しよう」「くわしく見てみよう」「写真やビデオにとって記録しよう」「友だちの意見に耳を傾けよう」「さまざまな記録をファイルして活動の流れを分かるようにしよう」の5つの合言葉を投げかけることにする。そして、基本的なマナーや安全については事前に全体で話し合い、活動のねらいをはっきりさせたい。また、活動のねらいをはっきりさせたい。

活動は、個人で行うものや、全体で一斉に行うものもあるが、そのほとんどは課題別にグループを編成し友だち同志のかかわりを大切にしながら進めていく。課題追求していくうえで、的確な指導や助言をしてもらったり、直接体験の場面を設定したりするためにゲストティーチャーを招き、子どもたちにとって価値ある体験をする場面を設定していきたい。

また、子どもたちが学習課題をいつも意識しながら活動したり、一人ひとりがしっかり自分の考えをもって参加したりできるように、ワークシートを使う。さらに、活動の都度自己評価をしたり、必要に応じて相互評価したりして、振り返りカードに記入し、次へのステップにつなげていくようにする。

4 単元の見どころ

《学び方能力》

- 課題がわかり、その解決のために調べ方を考え、活動することができる。
(問題発見力)(情報収集力)
- 自分たちが調べたことをまとめ、相手にわかりやすく伝えることができる。
(自己表現力)

《領域目標》

- 交流を通して、昔の町やくらしの様子を知るとともに、人々の知恵や工夫、たくましい生き方を感じることができる。
(情報分析力)(自己評価力)
- お年寄りや困っている人がいる時、学習したことをもとに、自分はどんなことができるかを考え、行動に移すことができる。
(自己実現力)

5 単元構想 (全 33時間)

次	過程	時数	学習活動・児童の意識	ねらい■ 支援 評価	形態	場所
1	ふれる つかむ	1	○タイムトラベル計画をする。 ・夏休みに○○を旅行したよ。 ・おみやげを買ったよ。 ・先生の旅行記はおもしろいなあ。 ・ぼくもタイムマシーンに乗りたいなあ。	■タイムマシーンに乗って久保の昔へ行き、旅行記を作りたいという意欲を持つ。 - TV(まんがなど)で見たタイムマシーンを思い出させる。 - 教師がタイムトラベル旅行記を子どもたちに見せる。 - 自分たちもタイムマシーンに乗って旅行したいという意欲が持てたか。	個人 学級	教室
		4	○久保の昔地図を作る。 ・タイムマシーンに乗るぞ。 ・今の久保の町とどこが違うのかなあ。 ・図書館は今の所にはなくて、八幡神社の近くにあったらしいよ。 ・昔の久保のことを誰に聞いたらいいかな。	■お年寄りから聞いたり写真を見たりして、50～60年ほど前の久保の町を地図で表す。 1学期に作った校区地図を思い出して書かせる。 - 今の町の様子と違うところに気づき、昔の久保の町に関心を持つことができたか。	個人 学級	家庭 地域 教室
		2	○昔の久保についてもっと知りたいことを話し合う。 ・昔の久保小の様子を知りたいな。 ・そのころの子どもたちはどんなことをして遊んでいたんだろう。 ・おばあちゃんが言っていた洗濯板って何だろう。	■久保の町の昔の様子で、もっと調べてみたいことを出し合う。 - 昔地図を作るときにお年寄りから聞いたことを思い出す。 - 昔の久保の様子をタイムマシーンに乗って調べにいきたいという意欲が持てたか。	学級	教室
2	見通す 追究する	1	○昔の久保の町に行って、何のおみやげを買ってくるか決める。 (グループ分けをする) ・学用品 ・農具 ・民話 ・食べ物 ・服 ・遊び道具 ・生活用具	■旅行記を作るのに、どんなおみやげや写真があるのか出し合う。 - 昔の生活で知りたいことは何かを考える。 - 昔の生活について、自分がもっと調べたいことが決まったか。	学級	教室
		2	○グループごとに調べる計画を立てる。 ・○○さんのおじいちゃんがくわしく知っているそうだよ。 ・市役所に行って調べてみよう。 ・写真をとったりテープに録音するといいいね。 ・インタビューの仕方を練習しよう。	■おみやげ探しの旅に行く準備(見通し)ができる。 - 昔のことをよく知っている地域の人や資料などを教師も予めよく調べておく。 - 質問カードを用意し、聞きたいこと調べたいことをまとめておく。 - グループでおみやげ探しの旅に行く準備ができたか。	グル-ブ	教室
		6	○タイムマシーンに乗っておみやげ探しの旅に出る。 ・○○君のおばあちゃんは、お手玉が上手だったよ。 ・戦後は食べ物がないで困っていたんだね。 ・じゃが池には、おもしろい民話が残って	■友だちと協力して、お話を聞いたり資料を集めたりする。 - 振り返りカードをつけながら、必要ならば何回も聞き取りに出かける。 - 聞き取りをしながら、しっかりとメモをとる。 - マナーや安全については、予め話し	個人 グル-ブ	家庭 地域 教室

		いるよ。 ・昔は洗濯機がなくて、洗濯板を使って手で洗っていたそうだよ。	合っておく。 自分たちの調べたい内容を、お年寄りの話や資料などからまとめることができたか。		
		6 ○旅をしてわかったことを整理し、発表の準備をする。 ・おみやげの学用品は、本物は持って帰れないから絵をかこう。 ・昔よく食べていた干しいもは、○○さんに教えてもらいながら作ってみよう。 ・昔の久保小の写真があったから、みんなに見せよう。 ・おじいちゃんから聞いた話を、紙芝居にしよう。 ・話をしてくれたおばあちゃんの願いをみんなに伝えよう。	■昔の久保の様子を、おみやげ・写真・旅行記などを工夫しながら、みんなに伝える準備をする。 ビデオやカセットテープなども利用する。 聞き取りをした人の生きざまや願いにも触れる。 グループ内で一人ひとりが自分から進んで活動しているか。	グループ	教室 生活科室
3	交流する 生かす	4 本時 3 / 4 ○持って帰ったおみやげなどを紹介し、調べたことを発表し合う。 ・戦争中は、子どもたちも学校を休んで家の手伝いをしていたんだな。 ・久保小では、そのころは給食はなくて、家に食べに帰っていたなんて知らなかったな。 ・昔の遊びはおもしろそうだね。ぼくたちのグループも作ってみたいな。	■友だちと協力しながら、自分たちが作った旅行記を他のグループに発表する。 必要なグループはゲストティーチャーを招き、直接話をしてもらう。 他のグループの発表を聞いて質問や感想を発表し、全体のものになるようにする。 伝えたいことを整理して、みんなにわかりやすく発表できたか。 友だちの発表について、自分なりの考えを持って聞くことができたか。	グループ 個人	教室 生活科室
		4 ○みんなで昔を体験する。 ・昔の遊びはおもしろいなあ。 ・お年寄りの知恵はすごいなあ。 ・昔はおやつにこんな物を食べていたんだ。	■お年寄りと交流しながら、昔を体験したり思いを聞いたりする。 前時の友だちの発表を聞いたあと、お年寄りにどんなことを教えてもらいたいのか話し合っておく。 お年寄りや友だちとしっかり関わって、昔体験を楽しんでいるか。	個人 学級	教室 生活科室
		2 ○全校集会でみんなに久保の昔を伝える準備をし、発表する。 ・時間が短いので内容をしぼらないとだめだ。 ・みんなが興味があるのはどれだろう。	■全校のみんなに、久保の昔の様子を伝える。 低学年にも分かるように、発表の仕方を工夫する。 短い時間の中で、みんなに分かりやすく発表することができたか。	グループ	体育館
		1 ○お世話になった人たちに、お礼の手紙を書く。 ・ぼくたちにいろいろなことを教えてくれてありがとう。 ・これからわたしたちにできることは何だろう。	■地域のお年寄りや市役所の人たちに、お世話になった感謝の気持ちを伝える。 自分たちがまとめた物の写真やコピーなどもいっしょにつける。 自分たちの思いを手紙にこめることができたか。	個人 グループ	教室

- 6 本時の目標
- グループでまとめた旅行記を，おみやげや写真などを紹介しながら，みんなにわかりやすく伝えることができる。（自己表現力）
 - 友だちの発表のよかったところ，わかりやすかったところはどこか，（注意して聞く）（自己評価力）
 - 昔の小学生の生きる権利や学ぶ権利が，戦争によって奪われたことに気づき，今までの自分たちの生活をふり返り，これからの行動につなぐことができる。（自己実現力）

7 学習過程

学 習 活 動	学習形態	子 ど も の 意 識	■ ねらい 支援 評価
1. 前時の活動をふり返る。	全体	・ 前のグループの発表はおもしろかったよ。今日のグループの発表もおもしろいかな。	■ 前時の活動をふり返り，本時の活動への意欲を持たせる。
2. 本時のめあてを知る。	全体		自分なりのめあてになっているかどうかという視点で評価し，いくつか取り上げる。
3. 旅行記を発表し，意見を出し合う。	個人	旅行記の発表会をしよう ・ みんなにわかりやすい発表をしよう。 ・ 他のグループのよいところをしっかりと見つけよう。	本時のめあてを確認し，活動への意欲を持つことができたか。
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	グループ	発表するとき ・ 自分たちのおみやげや写真をみんなに見てほしいな。 ・ 旅行記はどのような発表の仕方をしたらみんなにわかりやすかったかな。 ・ 教えてほしいなあ。お年寄りの紹介もしよう。 ・ みんなにいいアドバイスがもらえてよかった。 ・ みんなのおみやげや写真は何だろ。う。ことがいっぱいあったよ。 ・ 戦争中の子どもたちの生活は，今の僕たちの生活とは違っていたんだな。 ・ 自分たちとは違う。な。工夫がしてあったね。 ・ もう少し。を工夫するともっといいね。	■ 相手をしっかり意識した発表ができる。 ・ 具体物の提示 ・ ビデオやプロジェクターの活用 ・ 話し方 ・ 声の大きさ など ゲストティーチャーを招いて直接昔のことについて伺う。伝えたいことをわかりやすく伝えることができたか。グループで協力していたか。ワークシートに書いた気づきを確認する。友だちの発表をしっかりと聞きよいところを見つけることができたか。戦争によって，人権が奪われていたことに気づくことができたか。
4. 本時の学習をふり返る。	個人	・ 私のめあて「○○」はできたよ。 ・ ○○がわかった。 ・ ○○はもっと詳しく知りたい。 ・ 今日のグループのいいところを見習おう。	■ 本時の学習をふり返らせる。ふり返りカードに正しく自己評価をしているかどうか確認する。
5. 次時の活動内容を知る。	全体		次時の学習の意欲を持つことができたか。

- 8 準備物
- 教材提示装置 T V 黒板 掲示資料 学習カード
- 発表グループの準備物 発見尾道ファイル

子ども の活動 と意識 の流れ	10月	11月	12月	
	ふれる　つかむ	見通す　追究する	交流する　生かす	
	タイムトラベル計画をする（１） ○今まで旅行したことについて、みんなで話し合う。 ○先生の旅行体験記を聞く。 ○タイムマシーンについて知っていることを話し合う。 ○久保の昔を旅し、旅行記をつくろう！ ○へ旅行に行ったよ。 ○をみたよ。 ○がおもしろかったよ。 ○記念写真を撮ったよ。 ○おみやげは。だったよ。 おじいちゃん・おばあちゃんの力も借りないといけないね。 おじいちゃん・おばあちゃんが子どもの頃、久保の町は今と違っていたのかな。 久保の昔地図をつくる（４） ○一学期に社会科で作った校区地図を思い出す。 ○どうしたら昔地図が作れるか話し合う。 ○まずはおうちの人に聞いてみる。 ○聞きとりをしたことはメモしたり、白地図に書き込んでおく。 ○みんなで集めた情報をもとに、昔地図を作る。 市立図書館は、今とは違ったところにあったんだね。 戦争で焼けてしまったものもたくさんあるんだ。 生活の仕方もずいぶん違っていたようだよ。 おじいちゃん・おばあちゃんには、いろんなことを知っているよ 久保に住むお年寄りに話を聞いたら、もっといろんなことがわかるかもしれないね。 もっと知りたいことについて話し合う（２） ○昔地図をつくりながら、わかったことを整理し、もっと調べてみたいと思ったことを出し合う。 ○なぜもっと知りたいのが、理由もつけて話し合う。 食べ物とか服装とか、今と違うかな。 昔の小学生はどんな生活をしていただろう（学校では？）（家では？） 久保にはいっぱい民話や伝説があるって聞いたよ。 おばあちゃんが言っていたせんたく板って何だろう？ 写真やおみやげはどうするのかな。	おみやげを何にするかでグループ分けをする（１） 学用品　食べ物　遊び道具　農具　服　民話・伝説　生活用具 グループごとに計画を立てる（２） ○おみやげや調べたい内容について話し合う。 ○聞きたい内容について話し合い、学習カードを作る。 ○調べ方やインタビューの仕方を話し合う。 ○必要なもの（カセットテープ・デジカメ・ビデオなど）を確認する。 さんが詳しく知っているらしいよ。 市役所に行って聞いてみよう。 写真を撮ったり、テープに録音したりした インタビューの仕方を練習してから行こう タイムマシーンに乗って久保の昔へ旅をする（６） 聞きとり　本・資料　溫柔敦厚室　インターネット 旅でわかったことを整理し、発表の準備をする（６） ○調べたことを整理して、みんなに伝えたい内容や、伝える順序、方法などを話し合う。 ○ビデオやカセットテープなども使う。 ○わかりやすい発表の仕方を考え、練習する。 おみやげ　写真　旅行記 実物を借りてくる。 アドバイスしてもらって、自分たちで作る。 本物の写真を借りてくる。 伝えたい場所・場面を絵に描く。 紙芝居にする。 聞いたり、調べたりしてわかったことだけでなく、自分の感想や意見も書く。 今と昔の違いという視点を忘れない。 聞きとりした人の生きざまや願いに触れる。 人権の視点からもとらえる。	持って帰ったおみやげなどを紹介し、調べたことを発表する（４） ○発表する内容・方法など、自分たちで工夫して行う。 ○必要なグループは、ゲストティーチャーを招き、直接話をしてもらう。 昔の町やくらしの様子もわかったけれど、人々の知恵や生き方、たくましさもすごいぞ。 戦争は、子どもの生きる権利や学ぶ権利も奪ったんだ。 昔の遊び道具も楽しそうだぞ。 私も。で遊んでみたい（食べてみたい）。 みんなで昔を体験する（４） ○お年寄りに来ていただき、直接教えてもらいながら作ったり、遊んだりする。 ○交流する中で、昔のことだけでなく、今現在のお年寄りの思いなども聞く。 竹とんぼ　お手玉　竹馬　べっこう飴　おだんご　薪割り　せんたく お年寄りの知恵はすごいぞ。 昔の遊びもおもしろいなあ。 お年寄りは達人だ。 昔の人はよく働いたんだなあ。 お年寄りが、今困っていることや僕たちへの願いがわかった。 全校のみんなに久保の昔を教えてあげる（２） ○全校集会で発表する内容を考え、準備する。 ○低学年の人たちにもわかるように工夫する。 時間が短いので、内容をしぼらないとだめだ。 みんながおもしろいと思ってくれるものはどれだろう。 お世話になった人たちにお礼の手紙を書く（１） もっとお年寄りと交流して、いろんなことを教えてもらいたいな。 もっと久保の町のことを詳しく知りたいな。 私たちにできることは何だろう。 久保だけでなく、尾道の昔へも旅行してみたいな。	
	特活	市内めぐりのビデオを見る。		
	教科	国語（書きたいことの中心をくわしく） （まとまりを考えて） 社会（私たちの市内めぐり）	社会（私たちのまち）	国語（伝えたいことを自分の言葉で表現する） （書きたいことをわかりやすく） （説明書を作ろう） 図工（伝えたいものを絵で表現する） 社会（うつりかわる人々のくらし）
	道徳	まけるもんか（ねばり強くやりとげる） ある日曜日（礼儀の大切さ・まごころ） こうかん会（伝統文化を大切に） 多摩川をサケの故郷に（郷土愛）		
	場人	家族　市役所　市立図書館　近所のお年寄り	溫柔敦厚室　地域のお年寄り	
情報	インタビュー	図書館の資料　聞きとり	インターネット	